

根知地区こうみんかん

令和8年5月25日

第418号

TEL558-2002

館長 吉田 雅俊

〒949-0534 糸魚川市和泉355-3 メール nechiko@bz04.plala.or.jp

6月の行事予定

パソコン・スマホでご覧いただけます



- 6日(土) 畑遊び講座
- 10日(水) おとな食堂
- 11日(木) スマホ講座
- 17日(水) 歴史講座
- 19日(金) 色鉛筆講座
- 20日(土) ガーデニング講座
- 24日(水) 第1回給食サービス
- 27日(土) セタづくり

令和8年度公民館専門部員のみなさんです

文化教養部

- ◎金澤 将生
- 吉垣 政信
- 横川 和代
- 斉藤 喜代志
- 伊藤 厚
- 佐々木 和彦

社会体育部

- ◎吉田 祥
- 斉木 吉光
- 吉垣 かおり
- 横川 靖雄
- 木嶋 健二
- 猪又 岳大
- 佐藤 栄一
- 杉田 海

女性部

- ◎下杉 禎美
- 武藤 京子
- 篠崎 美智子
- 田上 絵里
- 田上 納保子
- 加藤 晴美

青少年部

- ◎斉藤 鷹介
- 安田 茂
- 横川 慎平
- 小田島 正美
- 佐藤 克久
- 吉田 一彦
- 佐藤 圭太

敬称略

老人部

- ◎佐藤 末雄
- 渡辺 闡壽
- 小田島 順治

青少年育成協議会長

小田島 修平

スポーツ推進委員

吉田 麻美

おとな食堂

歴史講座 大糸線で行く礫山(ろくざん)美術館

- ◆とき 6月17日(水) 8:50
- ◆ところ 8時50分根知駅集合 根知駅解散 17:30予定
- ◆内容 礫山(ろくざん)美術館の見学
- ◆参加費 大糸線運賃往復 3140円、美術館入館料1000円、昼食代(1500円程度)
- ◆申込み 6月10日(水)までに根知地区公民館へ



- ◆とき 6月10日(水) 11:00~13:30
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆参加費 500円
- ◆申込み 6月15日(月)までに根知地区公民館へ

人口及び世帯数8年4月末現在()内は前月

糸魚川市 男 17,937(17,930) 女 18,678(18,702) 合計 36,615(36,632) 世帯数 16,765(16,718)

根知 男 336(336) 女 332(337) 合計 668(673) 世帯数 332(333)

お知らせ

盆栽教室

- ◆と き 6月18日(木) 13:30～15:30
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆内 容 講師 太田茂機さん
盆栽の夏の管理

第2回畑遊び講座

今年も畑で野菜作りしながら遊んでみませんか。

- ◆と き 6月6日(土) 9:00～11:00
- ◆ところ 根知地区公民館集合
- ◆内 容 夏野菜の植え付け
- ◆持ち物 くわ、鎌、移植ごて
- ※作業しやすい服装でご参加ください。
- ◆申込み 6月4日(木)までに公民館へ



色鉛筆講座

- ◆と き 6月19日(金) 13:30～16:00
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆講 師 田上 昇さん(土師陶房)
- ◆参加費 参加費1人100円
- ◆申込み 6月17日(水)までに公民館へ

ガーデニング講座

簡単な夏の寄せ植えをしてみませんか。

- ◆と き 6月20日(土) 9:30～11:00
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆内 容 夏の寄せ植え
- ◆参加費 500円
- ◆持ち物 30センチ程度のプランター
(形はなんでもかまいません。)
- ◆申込み 6月15日(月)までに根知地区公民館へ

根知のお七夕飾りづくり

- ◆と き 6月27日(土) 9:00～11:00
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆内 容 公民館前に飾る七夕飾りを作ります。
- ◆持ち物 裁縫道具
- ◆参加費 無料
- ◆申込み 特に必要ありません。

スマホ講座

- ◆と き 6月11日(木) 13:30～15:30
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆内 容 スマホの便利アプリについて
- ◆申込み 申込みはいりません。

第1回給食サービス

今年度も3回の給食サービスを実施します。

- ◆第1回実施日 6月24日(水)

※対象者等の問い合わせはお近くの民生委員までお願いします。

根知谷

五月 新緑がまばゆい季節となりました。根知地域の田んぼでも田植えが盛んに行われています。

五月は二十四節気のひとつ、「立夏」でした。曆の上ではこの日から夏が始まり、次の節気である二十一日の「小満」前までの約十五日間を指します。この時期は田植えや農作業が進む時期でもあり、立夏は農作業の目安となる節目としても意識されています。

毎年五月頃から旬を迎える果物の一つにアンデスメロンがあります。甘みが強くとても美味しいメロンです。名前からして南米アンデス山脈地域が原産だと思われがちですが、実は全く関係ありません。「アンデスメロン」の由来は昭和三十一年に「サカタのタネ」が開発しました。「生産者が作って安心」「販売者が売って安心」「消費者が買って食べて安心」という三つの安心から「安心ですメロン」と名付けて売り出す予定でした。しかし「名前が長すぎる」「センスがない」などの意見が多くあり「メロンは芯を取り除いて食べる」という事でシンを取り除いて「アンデスメロン」となりました。当時としては、とてもユニークな発想で名付けられました。

この時季、昼間は夏のように暑いかと思うと朝晩は肌寒く、寒暖差が激しいため服装にも気を使います。

また、夜明けが早く夕暮れが遅くなっており、一日のうちでも明るい時間が長く農作業等で忙しい日々が続きます。体を動かす時間が長くなり、疲れから体調を崩さないようご自愛いただきたいと思えます。

根知地区公民館長 吉田 雅俊